

心理学的支援法

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》関口 真有 (心理科学部) (sekiguchi@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

公認心理師は、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって「心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと」を業とする者とされている。本講義では、代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義とその適応や限界について専門的知識を修得し、心理学的支援における多様な視点について学ぶ。また、心理支援の選択や調整、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、プライバシーへの配慮について、専門的知識を修得する。

【学修目標】

代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義とその適応や限界を説明できる
心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じた適切な支援方法の選択と調整について説明できる。
良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの能力を身に付ける。
心理療法及びカウンセリングの適用とその限界を説明できる
心理に関する支援を要する者等へのプライバシーへの配慮について説明できる
訪問による支援や地域支援の方法や意義について説明できる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

臨床心理士・公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

臨床心理士・公認心理師としての実務経験に基づき、心理学的支援において必要とされる知識を修得できるように講義する。